

ヒトデ

分類: 棘皮動物 星形綱 ヒトデ亜綱(目は各項に記載)
 学名: 各項に記載
 英名: Star fish

ヒトデは5本の腕があり体は中央下面に口が開き体下面に管足がある。この無数の管足の先端には吸盤があって海底を歩いたり、獲物を押しついたり、二枚貝の口を無理にこじあけたりして、裏返しに体外に出した胃で押し込み消化する。ホンヒトデ類が岩底に生活するのに対し、モミジガイ類は砂地に生息し管足に吸盤がなく、管足を束にして砂を後へ押しやり体を前進させ、砂地のごみや小動物を捕食する。ヒトデ類は時々大発生して、アサリやハマグリ等の養殖場を襲い甚大な被害を与える。又熱帯海域のサンゴ礁地帯に分布するオニヒトデはサンゴ礁特にミドリイシを食し全滅させることもある。



モミジガイ(顕盤目モミジガイ科)
Astropecten aurantiacus
 アルバニア -1966-



ヨーロッパオオヒトデ(又棘目ヒトデ科)
Marthasterias glacialis
 (Asterias)
 ユーゴスラビアトリエステB地区-1952-



トゲモミジガイ(モミジガイ科)
A.sepositus
 アルバニア -1966-



ヨーロッパオオヒトデ
 アルバニア -1966-



マンジュウヒトデ(有弁目コブヒトデ科)
Culcita novaeguinae
 モーリシアス -1969-



イトマキヒトデの一種(有棘目イトマキヒトデ科)
Palmipes membranaceus
 アルバニア -1966-



クモヒトデ

分類: 閉蛇尾目 クモヒトデ科(棘皮動物、クモヒトデ綱)
 学名: *Ophioplocus japonicus*
 英名: Brittle star

熱帯から両極地方まで、全世界の総べての海洋に分布する。潮間帯から6,000mの深海、サンゴ礁、岩礁地帯や深海の泥の上にも生息し、水深底質に関係なく全く広域的な動物である。ウニ、ヒトデと同様棘皮動物の一員ではあるが、ヒトデほど一般的でないのは行動が敏捷であることと、岩の割れ目や海藻の茂みなどに入り込み目立たない暮らし方に起因する。体の中央には3cm位の盤と呼ばれる口があるが肛門はない。その盤を中心に蛇の尾のようなしなやかな5本の腕(例外的には6本)をもち、その長さは約10cm位で、腕を構成する骨は可動的に連結され自在に動かすことが出来る。腕の下面は吸盤のない管足がついている。海底の有機沈澱物や微小生物、プランクトンなどを管足と繊毛の動きで口へと運ぶ。地中海及大西洋にはヨーロッパクモヒトデ(*Opiure texturata*)が分布する。



バルバドス -1965-



バルバドス(スカシ横)
 -1966-



セントヘレナ -1961



アルバニア -1966-



トリスタンダクーニヤ